

100年先の香川を見つめて

｜令和6年度 県政のあらまし｜

県民100万人計画

デジタル田園都市100計画

にぎわい100計画



かがやくけん、かがわけん。

香川県

「人生100年時代のフロンティア県」の 実現をめざして

人生100年時代を迎える中、すべての県民が生涯のあらゆる段階で活躍し、人生の豊かさと幸せを実感しながら安心して暮らすことができる地域社会を全国に先駆けて実現する「人生100年時代のフロンティア県」を目指します

県民100万人計画

安全・安心で住みたくなる香川をつくります

- ① 「子育て県かがわ」をつくる
- ② 教育の充実
- ③ 女性や高齢者、障害者が活躍する社会づくり
- ④ 安心できる医療・介護体制を構築
- ⑤ 災害や濁水に強い県土をつくる
- ⑥ 交通事故や犯罪のない安全安心な社会をつくる
- ⑦ 人口100万人計画

デジタル田園都市 100計画

活かに満ち挑戦できる香川をつくります

- ⑧ 産業拠点香川へ
- ⑨ 「四国の玄関口」として確かな
インフラ整備を進める
- ⑩ 農林水産業の先進県へ
- ⑪ 県産品の販路拡大
- ⑫ あらゆる世代・人材で香川の
産業を支える
- ⑬ グリーン社会の実現
- ⑭ デジタル社会を形成する

にぎわい100計画

多くの人が行き交い
訪れたくなる香川をつくります

- ⑮ 観光客2割UPを目指して
- ⑯ まち全体の美化推進
- ⑰ 文化芸術、スポーツの振興に
よる地域活性化



SDGs(Sustainable Development Goals)は、2015年9月、国連サミットにおいて採択された、2030年までに達成すべき国際社会全体の開発目標です。SDGsの理念や目標は、県が総合計画に基づき取り組むこととしている各施策と方向性を同じくするものであり、これらの取組みを推進することにより、SDGsの達成につなげていきます。

みんなの夢を叶える

「子育て県かがわ」をつくる

若い世代が定住する。結婚の希望をかなえられる。誰もが夢と仲間を持って、次代を担う子どもたちを安心して生み、健やかに育てることができる。そんな「子育て県かがわ」を社会全体でつくります。「経済的負担の軽減」、「子育て拠点の充実」、「みんなで子育て」の3つの柱に沿った施策により、少子化の流れ・局面を打開します。



▲さぬきこどもの国(家族で遊ぼう・学ぼう!イベント)

産業拠点香川へ

戦略的な企業誘致

本県への優良な製造業・物流業などの拠点整備や若者にとって魅力のある情報通信関連産業の立地を促進します。地域の特性や強みを活かしながら、雇用の創出や地域経済の発展につながる戦略的な企業誘致に取り組みます。



▲番の州臨海工業団地



▲香川県新規産業創出支援センター(ネクスト香川)

スタートアップ等の創出促進

県経済を牽引するようなスタートアップの創出を目指し、起業機運の醸成から起業後の成長促進まで切れ目ない支援を展開することで、香川でスタートアップが継続的に生まれ、育っていく、起業しやすい環境の基盤形成に取り組みます。

未来への投資・成長から飛躍へ

県立アリーナを活用したにぎわいづくり

競技スポーツ施設、生涯スポーツ施設、交流推進施設としての機能を併せ持つ、香川県立アリーナをサンポート高松に整

備します。令和7年3月開設予定であり、開館記念式典やオープニングイベントなどを実施します。



▲香川県立アリーナの外観イメージ

花と緑のリニューアル続々

本県の地域資源を活用したにぎわいづくりを進めるため、園芸総合センター、公洲森林公園、津田の松原 琴林公園の3つの施設を整備します。

近隣施設等とも連携しながら、県内外から幅広い世代が集まり、楽しめるよう、地域資源の魅力向上・活性化に取り組みます。

園芸総合センター

通称を「さぬきフラワーガーデン」として、来園者が四季折々の花々を楽しむことができる施設にリニューアルします。



公洲森林公園

遊歩道「やすらぎのこみち小径」や新たな桜並木を整備します。



津田の松原 琴林公園

松原を保全しつつ、多目的利用が可能なパークレットなどを整備します。



県民100万人計画

「子育て県かがわ」をつくる

子育て家庭や妊産婦への支援

- 各市町やNPO団体等が運営している、子育て家庭や妊産婦が気軽に立ち寄れる相談・情報提供・交流の場を、「かがわ子育てステーション」として登録を進めています。
- 登録施設には、目印となるステッカーを掲示しています。



教育の充実

学力の育成

- 個に応じたきめ細かな指導と個を活かす協働的な学びを推進し、児童生徒の学力の向上を図ります。
- 教員を支える体制を強化・充実し、教員が児童生徒と向き合う時間を確保します。



▲授業風景

県立高校魅力化の推進

- 「魅力あふれる県立高校推進ビジョン」に基づき、学校の特性や地域性等を生かした教育活動のあり方についての実践研究を行います。
- 県立高校のあり方を検討し、特色があり、魅力的な高校づくりを推進します。



▲高校生探究発表会

特別支援教育の推進

- 子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するため、適切な指導や必要な支援を行います。



▲特別支援学校と小学校との交流及び共同学習

部活動改革の推進

- 少子化が進む中、生徒の多様なスポーツや文化芸術に親しむ機会を確保します。
- 中学校の休日の部活動について、地域や学校の実情に配慮しながら、段階的な地域移行等に向けた環境づくりを行います。



▲実証事業の実施

女性や高齢者、障害者が活躍する社会づくり

女性の活躍推進

- 女性リーダーの養成や企業等の枠を超えた女性リーダー間の連携の強化など、男女共同参画に向けた取組みを行います。
- 「かがわ女性・高齢者等就職支援センター」において、就職相談やキャリアアカウンティングなど、女性等の新規就業を支援することにより、あらゆる分野における女性の活躍を推進します。



▲香川県女性が輝くリーダー養成セミナー

安心できる医療・介護体制を構築

ドクターヘリの運航・「K-MIXR」を活用した行政・医療・介護分野のDX推進

- 香川県ドクターヘリの効果的な運航を図るとともに、広域的な連携協力体制を構築することで、本県の救急医療や災害医療の充実・高度化を図ります。
- かがわ医療情報ネットワーク「K-MIXR」を活用した医療・介護事業者等が効率的に要介護認定等の業務を行うことができるシステムやレセプト情報を用いた診療支援システム「K-MIXR BASIC」により、医療機能の分化・連携を推進します。



▲香川県ドクターヘリ

感染症対策の強化

- 感染症分野の専門人材を養成するため、感染症専門医の育成、県内医学生への教育等を行います。
- 第一種感染症病棟の運営、新興感染症等の発生に備えた訓練や研修の実施などに取り組み、感染症対策の強化を進めます。



▲エボラ出血熱患者発生時の対応訓練

介護人材の確保対策

- 介護職員の負担軽減を図るため、県福祉人材センターに介護助手普及推進員を配置し、地域の元気な高齢者など、介護の周辺業務を担う介護助手の掘り起こし・マッチングに取り組みます。

災害や渇水に強い県土をつくる

公共土木施設の老朽化対策の推進

- 道路、河川、港湾等の公共土木施設について、定期的な点検により劣化状況を適切に把握し、長寿命化を図るための計画的かつ効率的な補修工事に取り組むなど、老朽化対策を推進します。



▲トンネル点検状況（白方トンネル）

南海トラフ地震・津波対策の推進

- 「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」に基づき、優先度の高い箇所から重点的・集中的に海岸堤防や河川堤防等の地震・津波対策を進めます。
- 「第12次香川県老朽ため池整備促進5か年計画」に基づき、老朽化が進行した防災重点農業用ため池の防災対策を推進します。



▲地震・津波対策工事（志度港）



▲地震・津波対策工事（御坊川）



▲老朽ため池整備工事

県民の防災意識の向上

- 参加実践型の防災イベントを実施し、家具類転倒防止対策や防災アプリ「香川県防災ナビ」の活用等を促進します。
- SNS上に新たに県公式防災アカウントを開設し、防災訓練に参加した際などにポイントを付与し、防災グッズに交換できる仕組みを導入します。
- 民間住宅における耐震化の必要性や重要性の啓発を強化して、県民の防災意識の向上に取り組めます。



▲家具類転倒防止器具の取付け

大規模な風水害に強いまちづくりの推進

- 近年、頻発化・激甚化している豪雨による洪水や土砂災害などを未然に防止するため、「香川県流域治水プロジェクト」に基づき、河川堤防や砂防施設等を整備します。
- 河川の水位情報の発信や、市町のハザードマップ作成の支援など、風水害に強いまちづくりを推進します。



▲弓池川砂防堰堤（観音寺市豊浜町）



▲春日川広域河川改修工事（高松市池田町）

水の安定供給の確保

- 香川県広域水道企業団や直島町が行う水道施設の整備を支援することにより水道施設の更新・耐震化を推進し、地震などの災害に強い水道を構築します。
- 洪水を防御する治水機能と河川維持用水などを安定供給する利水機能を有するダムを整備を計画的に進めます。



▲試験運水中の瓶川（かがわ）ダム（高松市堤江町）

交通事故や犯罪のない安全安心な社会をつくる

交通死亡事故の抑止

- 県民の交通安全意識の高揚を図るため、体系的な交通安全教育や啓発活動を推進します。
- 特に、高齢者に対しては、高齢者交通安全ガイドの訪問指導によるきめ細やかな交通安全教育を推進します。
- 高校生の交通安全意識の向上を図るため、ヘルメット着用に取り組む高校の自転車通学生に、ヘルメット購入費の補助を行います。
- 見やすく分かりやすい道路標識・標示の整備など、交通事故の起きにくい交通環境の整備を行います。



▲高齢者交通安全ガイド



▲自転車乗車用ヘルメット

犯罪防止に向けた取組の推進

- 特殊詐欺をはじめとする犯罪を防止するため、最新の犯行手口や被害実態を十分に把握し、警察の対応力の強化を図ります。
- 関係機関・団体等と連携した防犯意識の高揚や防犯環境の整備、少年の規範意識の向上等、官民一体となって効果的な犯罪防止に向けた取組みを推進します。



▲住まいる防犯相談会



▲金融機関等対象の防犯アドバイザー活動



▲かがわマナーアップリーダーズサミット2023

デジタル社会の安全・安心の確保

●サイバー空間をはじめとするデジタル社会の脅威的に対処するため、専門捜査官等の集合研修や、捜査用資機材の整備、被害防止対策のための広報啓発の強化により、検挙と抑止の両面から総合的な対策を推進します。

人口100万人計画

定住人口を拡大する

●市町等と連携しながら、大都市圏で開催する移住フェアやSNS等で広く「かがわ暮らし」の魅力を発信します。空き家バンクによる住宅情報の提供や、就職相談、定住サポートに取り組みます。



▲移住フェアでの魅力発信

デジタル田園都市 100計画

産業拠点香川へ

戦略的な企業誘致 ※内容は1ページに記載しています。

スタートアップ等の創出促進 ※内容は1ページに記載しています。

デジタルの活用による競争力強化

●県内企業のデジタル化を支援し、ものづくり企業の実態やニーズに応じたAI・ロボット等の先端技術の導入等を促進します。生産性向上や競争力強化により、超スマート社会の実現を目指します。



▲協働ロボット導入の現場実証

「四国の玄関口」として確かなインフラ整備を進める

県立アリーナを活用したにぎわいづくり ※内容は2ページに記載しています。

高松空港の利便性 向上

●空港運営会社と連携しながら、航空ネットワークの拡充とそれを支える利用環境の向上に取り組みます。



▲高松空港



▲国際線航空機(複数)

幹線道路や重要港湾等の整備

●高速道路と空港等を結ぶ高規格道路をはじめ、交通拠点や産業拠点等を相互に連絡し、アクセス機能の強化を図る幹線道路の整備を進め、高松自動車道等の高速交通体系と一体となった幹線道路ネットワークの構築に取り組みます。

●高松港が四国における物流・交流拠点として発展するよう、高松港国際物流ターミナルや高松港複合一貫輸送ターミナルの整備を進めるなど、港湾機能の強化を推進します。



▲高松港国際物流ターミナルの整備



▲高松港(玉藻地区)大型クルーズ客船受入施設の整備

みなとのにぎわい創出

●高松港では11万トン級までの大型クルーズ客船受入施設のほか、大型プレジャーボート受入施設の整備を進め、みなとのにぎわい拠点の整備に取り組みます。

農林水産業の先進県へ

オリジナル品種の生産振興

●小麦「さぬきの夢2023」を始め、キウイフルーツ「さぬきエメラルド」、アスパラガス「さぬきのめざめ2021」、ランタンキュラス「てまりシリーズ」、オリーブ「香オリ3号」「香オリ5号」など、県オリジナル品種の導入による高品質で特色のある農産物の生産振興に努めます。



▲さぬきの夢2023



▲さぬきエメラルド



▲さぬきのめざめ
2021



▲ランタンキュラス、
カーネーション



▲香オリ3号

農産物の需要拡大

●高品質な県産の野菜、果樹及び花きを束ねた「さぬき讃シリーズ」や「おいでまい」を含む県産米、「さぬきの夢」等について、生産者や「さぬき讃サンはなやか(花野果)大使」等と連携したプロモーション活動を行います。

●輸出に向けた生産者の取組みを支援し、県産農産物の需要拡大につなげます。

オリーブを生かした地域経済の活性化

●オリーブの生産振興や、官能評価・化学分析に関するI OC認定取得などの国際機関と連携したオリーブオイルの高品質化、オリーブ畜水産物などの生産振興に取り組みます。

●戦略的な情報発信によるブランド力の強化を図り、全国トップにあるオリーブ産業の発展とオリーブを生かした地域の活性化に取り組みます。



▲かがわ「旬のイチオシ!」農産物フェア



かがわオリーブ
オイル品質表示
制度のロゴマーク



▲香川県産オリーブオイル

豊かな海づくりの推進

●近年、温暖化や貧栄養化等により海域環境が大きく変化し、瀬戸内海の漁獲量が激減しています。

●水産資源の早期回復に向け、不漁原因の究明や漁場環境の改善など、豊かな海を取り戻すための取組みを総合的に進めます。



▲産卵や稚魚の成育の場となる藻場

森林整備と森林資源循環利用の推進

●間伐等による森林整備や、公共施設や民間住宅等での県産木材の利用促進、県産木材製品のPRや木育活動などの普及啓発を行います。

●森林整備と森林資源の循環利用を推進し、脱炭素社会の実現に貢献します。



▲県産木材利用施設
「讃岐おもちゃ美術館」

農山漁村の活性化

●農山漁村地域の豊かな自然環境や伝統文化、農林水産物などの魅力あふれる地域資源を発掘・活用し、都市住民との交流や農山漁村地域への移住・定住の取組みを促進します。



▲都市住民による農村体験

県産品の販路拡大

県産品のブランド力の強化と認知度向上の推進

●アンテナショップ、県産品ポータルサイト、インターネットやSNS等を活用し、県産品の効果的な情報発信を行います。

●観光客や県内の消費者に向け、香川の「食」の情報発信や販売促進に取り組みます。

伝統的工芸品及び地場産品のブランド力強化と販路拡大

●高度な伝統的技術・技法によって生み出される「香川漆器」や「庵治石」、全国一位の生産量を誇る「丸亀うちわ」、「手袋」などの伝統的工芸品や地場産品について、首都圏のセレクトショップ等においてフェアを開催します。

●技術者・職人の育成やプロモーション活動を支援します。海外でも造形美の評価の高い「松盆栽」について関係団体と連携した販路拡大に取り組みます。



▲香川漆器



▲香川手袋



▲庵治石



▲丸亀うちわ



▲松盆栽

あらゆる世代・人材で香川の産業を支える

求職者への就職支援と県内企業の 人材確保

●「香川県就職・移住支援センター(ワークサポートかがわ)」において、きめ細かなマッチング支援や県内企業の情報発信を行い、正規雇用での県内就職を促進します。



▲マッチング支援

外国人材の受入れ支援

●「香川県就職・移住支援センター(ワークサポートかがわ)」に専任のコーディネーターを配置するほか、海外大学と連携し、日本語教育及び本県や県内企業の魅力発信等を行う講座を大学に開設するなど、県内企業の外国人材の受入れを支援します。

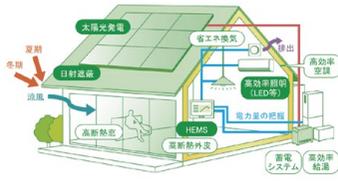


▲留学生と県内企業との交流会

グリーン社会の実現

地球温暖化対策の推進

●「家庭・企業の脱炭素推進」「太陽光(熱)エネルギーの最大限活用」「吸収源対策」「新エネルギーの利活用」の4つの重点取組分野を中心に、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)等の導入や断熱改修の促進など、地球温暖化対策に取り組みます。



▲ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

循環型社会の形成

●できる限りごみを減らし(リデュース)、可能なものは再利用(リユース)・再資源化(リサイクル)するなど循環の利用を推進します。
●災害廃棄物処理の充実・強化や、不法投棄対策の一層の強化に取り組みます。

生物多様性の保全

●県内の研究者等が収集・保管している標本を活用した「まちかど生き物標本展」や、香川の自然に親しむフィールド講座を開催し、香川の生き物やその現状を知る機会を子どもたちに提供します。



▲フィールド講座

有害鳥獣対策の推進

●依然として深刻なインシシによる被害に対処するため、県主体の捕獲事業や市町が実施する市街地周辺での捕獲等の支援を行うなどの有害鳥獣対策に取り組みます。
●捕獲の担い手となる若手狩猟者の確保・育成を推進します。



▲若手狩猟者の確保・育成講座

海ごみ問題の解決に向けて

●海ごみは、プラスチックごみ等の生活ごみが大半を占めているため、海ごみの回収とあわせて日常生活に由来する海ごみの発生抑制を図る必要があります。
●かがわ海ごみリーダー(香川県海岸漂着物対策活動推進員)と協力し、海岸清掃活動等を通じて地域での海ごみ対策を推進します。



▲海岸に漂着したプラスチックごみ

環境を守り育てる地域づくり

●環境学習講座の実施や環境について考える機会の提供など、環境を守り育てていくための「人づくり」に加え、市町や民間団体等と連携して、環境保全の取組みが地域に広がり、持続的なものとなるような「地域づくり」を推進します。



▲体験型環境学習

人と動物との調和のとれた共生社会づくり事業

●「さぬき動物愛護センター」(しっぽの森)を拠点として、開設5周年記念イベントをはじめとした動物愛護管理についての普及啓発や犬猫の適正な譲渡を推進するほか、飼い主のいない犬猫を増やさない地域の取組みを支援します。



▲動物と触れ合うための模擬体験教室

デジタル社会を形成する

官民連携によるDXの推進

●デジタルによる地域課題解決を通じたまちづくりに取り組む官民共創コミュニティ「かがわDXLab」において、行政DX、地域DXについて、幅広く意見を交わします。
●フィールドワークを通じて地域の課題を抽出し、実証実験を積み重ね、住民に寄り添ったサービスを実装することで、地域課題の解決につなげます。



▲「かがわDXLab」のワーキングの様子

デジタル人材の育成

●情報通信関連産業のオープンイノベーション拠点である「Setouchi-i-Base」において、人材育成講座や各種セミナー等を実施するなど、地域や企業のデジタル化を支え、イノベーションを創出するデジタル人材の育成を推進します。

にぎわい100計画

観光客2割UPを目指して

観光客の誘致・滞在の促進

●多くの観光客に、多島美を誇る瀬戸内海の素晴らしさを改めて感じてもらう「島へ行こうキャンペーン」の実施など滞在型観光を推進するほか、大阪・関西万博を契機とした誘客や新たな旅行需要の開拓に取り組みます。

まち全体の美化推進

花と緑のリニューアル続々 ※内容は2ページに記載しています。

快適で美しいまちづくりとおもてなしの向上

●市町や観光協会、観光関係団体等と連携し、全県的な「観光香川おもてなし運動」を展開します。
●まちの美化やトイレの洋式化を推進し、本県を訪れる観光客の利便性と満足度の向上に努めます。

安全で快適な歩行空間の整備

●サンポート高松地区における屋根付き歩道やプロムナード等の安全で快適な歩行空間の整備や、そのにぎわいを中心市街地全体に波及させるための回遊性向上に向けた検討に取り組みます。



▲サンポート高松地区プロムナード化

文化芸術、スポーツの振興による地域活性化

文化芸術の振興

●文化芸術を担う人材の育成をはじめ、県立ミュージアムやレクザムホール(県民ホール)における文化事業など文化芸術に親しむ機会の充実を図ります。
●香川漆芸やかがわ文化芸術祭など香川の特色ある文化芸術を活かした地域づくりに取り組みます。



▲かがわ文化芸術祭

第49回全国高等学校総合文化祭の開催に向けて

●令和7年度に本県で開催する全国高等学校総合文化祭(かがわ総文祭2025)に向けて、生徒実行委員会を中心に、令和6年度のプレ大会の開催をはじめ、本大会の準備や周知に取り組みます。



▲応援部門による演舞

瀬戸内国際芸術祭2025の開催準備

●瀬戸内国際芸術祭は、瀬戸内の島々と地域を舞台に、現代アートを通じて、地域の活力を取り戻すことを目指す活動です。
●6回目となる「瀬戸内国際芸術祭2025」の開催に向け、瀬戸内の里海・里山の魅力の発信に取り組んでいきます。



▲ヘザー・B・スワンソン・ノダ・カサリディス「海を夢見る人々の場所」
Photo: Keizo Kioku

地域密着型スポーツチームの振興

●地域密着型スポーツチーム(香川オリブガイナース、カマタマーレ讃岐、香川ファイブアローズ、香川アイフェローズ)の応援機運醸成等の支援とともに、チームを活用した地域活性化や地域課題解決等に取り組みます。



▲KAGAWA FIVE ARROWS プロスポーツチームの活躍

トップアスリートの育成

●国際大会等で活躍できる県出身のトップアスリートの輩出をめざし、ジュニア期からの一貫指導体制で育成、強化に取り組むとともに、練習環境を整備するなど、より一層の競技力の向上を図ります。



▲かがわドリームスポーツ教室
～石川佳純47都道府県サンスツアー～

文化資源の継承と活用

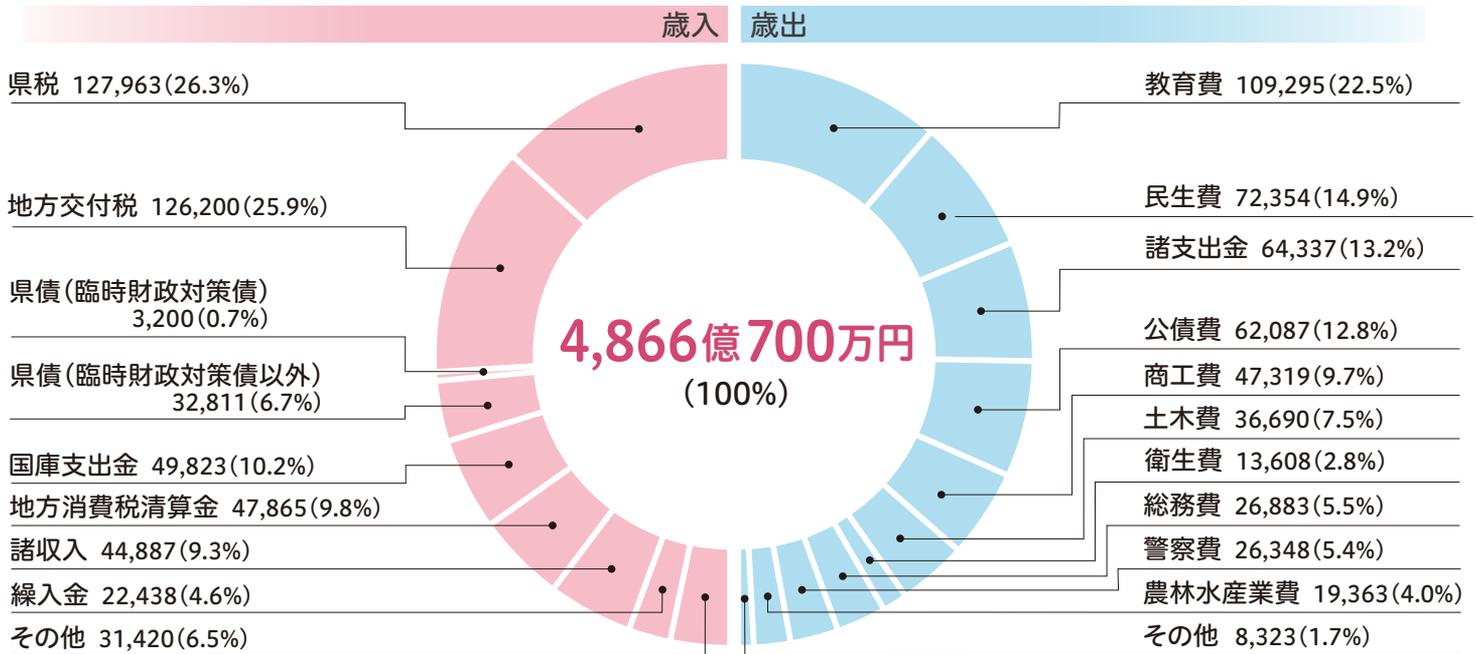
●特色ある文化資源の継承と充実を図り、地域づくりに活かすため、香川県文化財保存活用基金を創設して寄附を募り、幅広く文化財保全活動への支援や参画を促進します。



▲金刀比羅宮の主要建造物の大規模保存修理

令和6年度一般会計当初予算の歳入歳出

(単位：百万円)



県勢要覧

区分	数値	全国順位	年次
降水量	667.5mm	47位	R4年
日照時間	2,227.7時間	10位	R4年
面積	1,876.91km ²	47位	R4.10.1
人口	934,060人	38位	R4.10.1
人口密度(1km ² 当たり)	497.7人	11位	R4.10.1
合計特殊出生率	1.45人	13位	R4年

区分	数値	全国順位	年次
第1次産業就業者の割合	4.83%	24位	R2.10.1
第2次産業就業者の割合	25.14%	20位	R2.10.1
第3次産業就業者の割合	70.03%	20位	R2.10.1
有効求人倍率	1.51倍	14位	R4年度
1人当たり県内総生産(名目)	3,930千円	26位	R2年度
1人当たり県民所得	2,766千円	28位	R2年度

出典：100の指標からみた香川(令和6年版)

行政経営の推進

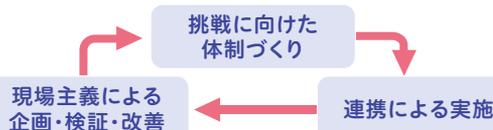
行政運営の基本理念

香川県の総合行政の主体として、真摯に地域と向き合い、県民起点の行政サービスを提供し、県民一人ひとりの幸せと、生きがいのある社会の実現に貢献する。

行政運営のビジョン(令和10年度のありたい姿)

「人生100年時代のフロンティア県」の実現に向けて挑戦する香川県庁

ビジョンの実現に向けた取組み



行政マネジメントの推進

上記のサイクルを遅滞なく回すことで、外部環境の急速な変化と内部環境の課題に対応しつつ、ビジョンを実現する。

外部環境の急速な変化

- 進展する少子高齢化と人口減少
- デジタル技術の目覚ましい進歩
- ポストコロナ時代の働き方や意識の変化等

内部環境の課題

- 職員の年齢構成の変化への対応
- 働きやすい職場づくり
- 定年延長に伴うモチベーションの維持・向上等

令和6年度から5年間を計画期間とする「香川県行政経営指針-2024-」に基づき、行政運営のビジョンの実現に向けて、各種取組みを行います。

主な取組み

(★印は特徴的な取組み)

1 挑戦に向けた体制づくり

挑戦に向け、組織体制の構築や人材の確保、職員の育成を行うほか、職員が仕事のやりがいやキャリアを通じた成長を実感できるよう、人材マネジメントの向上に取り組む。職員がお互いの違いや背景を尊重し、その力を最大限発揮できるよう、働きやすい職場づくりを行う。

- ★管理職や中間層のマネジメント能力の向上
- ★人事考課制度の見直し
- ★庁内ジョブチャレンジ制度の導入
- ★男性職員の育児休業等の取得の推進
- ★時差出勤や在宅勤務などの柔軟な働き方の推進
- ★フリーアドレスの導入

2 連携による実施

施策の実施にあたり、小規模な本県がより良い成果を上げるため、市町や他県、民間との連携・協働による実施に努めるほか、デジタル技術の利活用により、県民の利便性の向上や、施策の効果的・効率的な実施に努める。

- ★生成AI・ノーコードツールなどのデジタル技術の活用

3 現場主義による企画・検証・改善

行政サービスが、真に県民一人ひとりの幸せや、生きがいのある社会づくりに繋がるよう、現場主義に立って企画・検証・改善を行う。県民に近い立場で仕事をする現場の職員が、より円滑に業務ができるよう、現場主義に立った改善を行う。

- ★地域社会貢献に繋がる兼業の推奨

4 行政マネジメントの推進

県民の信頼と期待に応えるとともに、限られた資源を最大限活用して成果を出していくため、各種マネジメントの向上に取り組む。